



佐藤 博 議員

## 読み書きそろばん教育を校外活動に取り入れてはどうか

**問**

創造的、効果的教育活動について尋ねる。

(1) 世界で高く評価されてきた日本教育の原点は、読み書きそろばんであった。

兵庫県尼崎市は、そろばんで構造改革特区を設定し、年間10から50時間の授業が行われている。

校外活動として、学童保育や子ども会活動等で、必要経費は市が計上し、ボランティアを中心に協力体制を確立して読み書きそろばん教育を実施してはどうか。

(2) 昨今、非行児童、不良生徒に関係者は頭を悩ませている。基本的な問題は、家庭教育、親のしつけに起因している。

青少年健全育成都市宣言にふさわしい活動内容を検討する必要があるのではな

いか。

## 教育委員会等と検討したい

**答** 教育長

(1) 授業での位置付けは難しいが、読み書きそろばんの有効性は十分認識されている。

校外活動の中でどのようなにしたらいいか、教育委員会や関係者と検討していきたい。

(2) 乳幼児期からの家庭教育の重要性を一人一人が認識し、学校・地域が連携することが必要だと思う。

## 輪中の郷は市とはどんな関係か

**問**

特別養護老人ホーム「輪中の郷」(以下「輪中」)について聞く。

4年6月に開所した老人福祉施設で、社会福祉法人弥富福祉会が運営する。定員80人。

入所要件はおおむね65歳以上で、寝たきりや認知症等、介護保険制度の要介護度が3以上。大藤町に位置する。

(1) 輪中は、旧弥富町が昭和62年から建設を発案した施設で、町が土地を負担し、福祉法人を立ち上げた。

現在、市とはどのような関係か。

(2) 市民や入居者の家族等からの要望、意見が市に伝わっているのか。

将来的に施設の老朽化等、財政的に市がバックアップせざるを得ないと思う。そつしたことを尋ねることも重要ではないか。

## 福祉法人で理事選任していない



特別養護老人ホーム「輪中の郷」

**答** 副市長

(1) 運営は福祉法人として法人化された形である。

市から理事の選任等はない。

**答** 市長

(2) この施設がこれから先もしっかりと運営していきよう、行政として力添えをしていかなければならない。